

多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター 指定管理者候補者選定委員会第3回要点録

日時: 令和3年8月19日(木)午前10時から午前12時まで

場所: 多摩市役所 3階 301会議室

出席者 ※敬称略

委員 4名

(他1名、諸事情により当日参加できない旨の申し立てが事前にあったため、事務局より意見聴取をした。)

事務局 10名

委員長より開会の挨拶

1 資料確認

事務局より、資料確認を行った。

2 本日の進め方について

事務局より、進行確認を行った。

3 前回の委員質問への回答

事務局より、前回の委員会において持ち越しとなっていた委員からの質問に対する、応募団体からの回答を報告した。

2件の報告に対して、委員より以下の意見があった。

- ①「二幸産業の決算報告書に記載の業務委託費がマイナス記載の理由」についての委員意見
・マイナスの計上処理は営業利益の強調と思われる。また、雑費にマイナスの計上処理がされているが、支出項目自体は問題ない。
- ②「今期指定管理におけるKPIの達成度」についての委員意見
・KPIの質問の意図は、報告内容とは異なり、前回応募時の目標値と今の実績の比較から、改善が図られてきたことを聞きたかった。
・総合福祉センターの利用者満足度の調査アンケートで、総合的な満足度が、令和元年度はB評価(やや高い満足度レベル)であった。改善策を考えた方が良い。
・地域のステークホルダーとの連携による社会貢献事業は、2019年は22件に対し2020年は2件と減っている。将来的に20件を目指しているが、キャラクター派遣だけでなく、異なる形の地域連携に期待する。

- ・応募団体が次回の指定管理公募に応募する際には、目標値に加えて、年度ごとの目標値の達成度を表した表を作って下さると、実績が分かりやすい。

4 報告書(案)の確認・意見交換

事務局より報告書(案)の確認と意見交換についての説明がなされた。

(1) 事前意見聴取結果の報告

当日参加できなかった委員からは事前に意見聴取をしており、事務局がこの内容を報告した。

- ①更衣室からプールの通路で異臭がする問題等、施設の管理維持の推進
- ②地域への貢献の面で、近隣の自治会等に限らず、多摩市の他の自治会や市民全体が使いやすいようにするための検討
- ③災害時に、施設職員の方が即時駆けつけ、対応することが可能なかどうか

(2) 各委員の意見交換

委員の意見交換は、主に報告書における選定委員会意見の内容について行った。

委員からは以下の意見があった。

① 良好と評価する項目について

- ・各委員の評価は、評点合計が満点の約7割であった為、概ね「良好」である判断でよい。
- ・高齢者雇用への配慮だけを評価しては、非正規雇用率が高いことが蔑ろにされてしまう。多摩市内から正規雇用を増やすことが大切。良と判断するのではなく、補足説明とモニタリングを求める記載に、雇用関係について触れる文言を加える方針が良い。
- ・施設管理運営業務の実績を良と評価することは問題ない。プールの管理実績が、アクアブルー多摩の他に、ある程度の数があることが理由。
- ・安全管理について、施設全体を良と評価するのではなく、事実確認できている温水プールの運営状況に限って評価することが妥当。
- ・事業・サービス面を評価するうえで、地域特性は地域に子育て世代が多だけでなく、高齢者が多いことも挙げられる。また、近隣のコミュニティセンターの中に児童館があり、子供政策では児童館の方が強いので、児童館と連携することを考えてほしい。
- ・応募団体の説明は、長期間指定管理をして、現状の利用者は高齢者層が多く、今後は子育て世代をターゲットにして、利用者層を拡大していく趣旨であり、その方針は適切と評価できる。
- ・事業方針について、高齢者のフレイル対策と子育て世帯をターゲットにした方針を評価する。

② 補足説明、モニタリングを求める項目について

※委員からの質問を受け、事務局より、当施設では平成20年から指定管理が導入され、当初から現指定管理者が指定管理を3年・5年・5年・1年と計13年継続しており、現在14年目に当たる旨、説明がなされた。

- ・第三者評価機関からの評価が低かった項目について、理由と改善策を知りたい。
- ・地域連携が弱かったという応募団体の自己分析について、その原因分析と今後の改善方針を、特に市内事業者、自治会等地域との連携推進という視点から伺いたい。

- ・組織面で非正規雇用への対応を求めると、やや求めすぎである。非正規雇用は制度上、コスト削減との兼ね合いもあり、難しさがあることが理由。
 - ・災害時の夜間対応マニュアルや、夜間発災時の職員呼集体制の整備について補足説明とモニタリングを求める。
 - ・公平な施設利用という点で、既存利用者への対応もさることながら施設をまだ利用したことが無い人へのアプローチ策について、どういった検討をしているか伺いたい。
 - ・コスト計算について、事業報告書のコスト計算が厳密性に欠けるのではないか。具体的には、人件費が各年度一定だが、定期昇給など加味しているか。
 - ・KPIについては、過去の目標値と、その達成状況を明確化してほしい。
 - ・経営企画書の中で、あるべき姿と現状の大きいものについては、新たな施策の内容を明確化する表現はどうか。
- ※事業報告書内の経営企画書について、応募団体の経営企画ではなく、代表企業の経営企画である補足説明がなされた。これを受け、経営企画書についての該当文は削除の方針となった。

5 今後の予定について

事務局より、報告書の修正方法、本選定委員会の取組の公表方法について、説明を行った。

委員長より閉会の挨拶